

特別調査「中小企業の人手過不足感と人材戦略について」

問1 人手の過不足状況

	人手不足				適正	人手過剰			
	現場作業関係	営業・販売関係	経理・財務・管理関係	その他の職種	適正	現場作業関係	営業・販売関係	経理・財務・管理関係	その他の職種
全体	7.7	3.5	0.9	3.5	81.2	1.9	0.5	0.2	0.5
業種	製造業	5.3	4.4	0.9	4.4	82.5	1.8	0.9	
	小売業	1.0	2.1	1.0	1.0	91.7	1.0	1.0	1.0
	サービス業	10.3	5.1		6.4	76.9	1.3		
	建設業	17.1	1.3	1.3	3.9	71.1	3.9		1.3

問2 団塊世代の引退による影響

	対応					50歳以上の割合					
	新卒を採用する	中途・経験者を採用する	定年延長・再雇用を行う	技能継承に注力する	対応はとらない(影響はない)	なし(0%)	～10%程度	～30%程度	～50%程度	50%以上	
全体	2.8	11.1	7.3	8.3	69.3	15.8	15.8	22.4	11.1	30.2	
業種	製造業	5.3	12.3	13.2	13.2	55.3	11.4	13.2	29.8	14.0	25.4
	小売業		5.2	1.0	4.1	87.6	15.5	10.3	11.3	7.2	51.5
	サービス業		17.1	6.6	3.9	72.4	25.0	19.7	15.8	14.5	22.4
	建設業	2.6	13.0	9.1	11.7	62.3	14.3	18.2	26.0	9.1	26.0

問3 採用活動で利用する求人チャネル

	公共職業安定所(ハローワーク)	新聞(折込み広告を含む)	求人情報誌	自社ホームページ	求人情報サイト	就職・転職セミナー	学校からの紹介	知人・取引先等からの紹介	その他	特になし	
全体	23.3	4.0	11.6	7.0	5.6	1.2	2.3	18.8	0.9	55.1	
業種	製造業	31.6	4.3	11.1	9.4	8.5	2.6	2.6	17.9		42.7
	小売業	10.4	2.1	8.3	2.1	5.2		1.0	12.5	1.0	75.0
	サービス業	17.9	5.1	20.5	7.7	3.8		1.3	15.4		56.4
	建設業	29.9	3.9	10.4	6.5	2.6		5.2	28.6	2.6	50.6

問4 採用したい人材が有する職能・技能

	営業・販売	財務・経理	企画・管理	研究・開発	法務(労務や特許等)	IT関連技能	語学力	業種独自の技能・資格	その他	職能・技能は問わない	
全体	30.8	4.2	5.6	3.8	0.7	2.6	3.3	28.2	3.8	34.8	
業種	製造業	33.6	9.5	5.2	9.5	1.7	2.6	5.2	25.9	0.9	30.2
	小売業	23.2	2.1	5.3	3.2			2.1	13.7	2.1	58.9
	サービス業	24.7		5.2			3.9	1.3	42.9	9.1	26.0
	建設業	25.3	4.0	5.3	1.3		2.7	2.7	41.3	1.3	33.3

問5 復旧・復興に関連する業務

	復興関連業務の実施有無		今後取り組みたい業務							
	行った	行っていない	被災地域への人的支援	被災地域での受注・販売	被災地域からの調達	環境・エネルギー関連ビジネス	公共インフラ関連ビジネス	住宅・生活関連ビジネス	その他	特になし
全体	8.0	91.1	4.2	6.1	6.6	5.6	2.1	4.5	0.5	66.2
業種	製造業	13.7	85.5	4.3	9.4	9.4	9.4		0.9	62.4
	小売業	3.2	95.8	4.2	3.2	4.2	2.1	1.1		80.0
	サービス業	6.5	92.2	3.9	7.8	5.2	5.2		1.3	71.4
	建設業	7.9	92.1	5.3	5.3	2.6	3.9	9.2	10.5	

この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

(財)板橋区中小企業振興公社








TEL : 03 (3579) 2175 FAX : 03 (3963) 6441 HP : [http:// www.itabashi-kohsha.com/](http://www.itabashi-kohsha.com/)




板橋区の景況




これは、平成24年6月上旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先の3ヵ月間（平成24年7～9月期）の予想をまとめたものです。




平成24年4～6月期




調査対象 製造業 117社 小売業 97社
 サービス業 78社 建設業 77社
 調査方法 面接聴取
 調査機関 (社) 東京都信用金庫協会
 分析・作成 (株) 東京商工リサーチ

							
	好調 ←			普通		→ 不調	
製造業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下
小売業	10以上	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31～△40	△41以下
サービス業	15以上	14～5	4～△5	△6～△15	△16～△25	△26～△35	△36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下

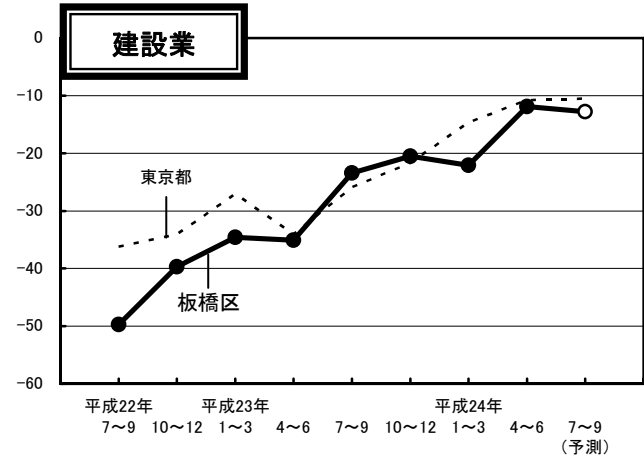
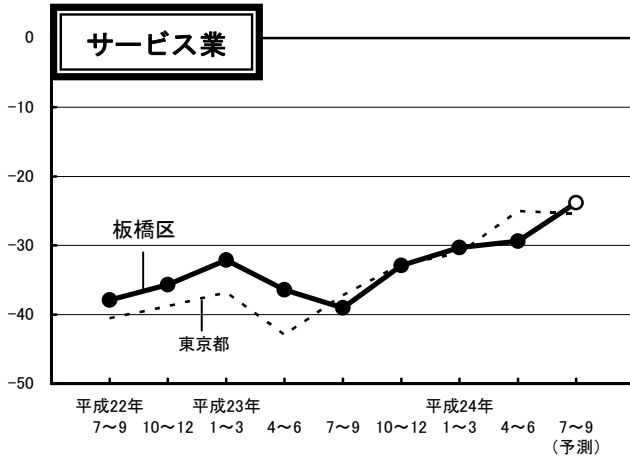
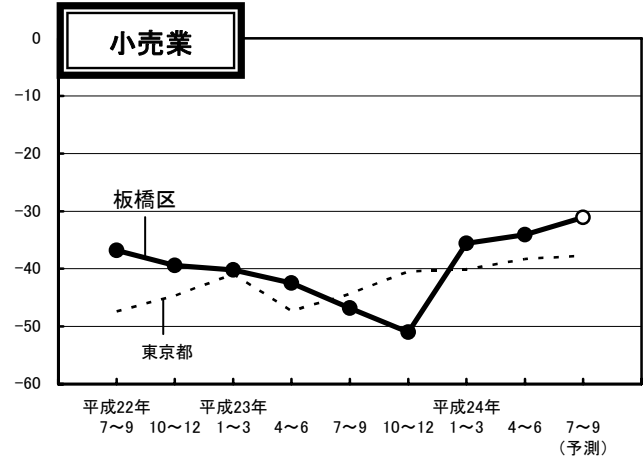
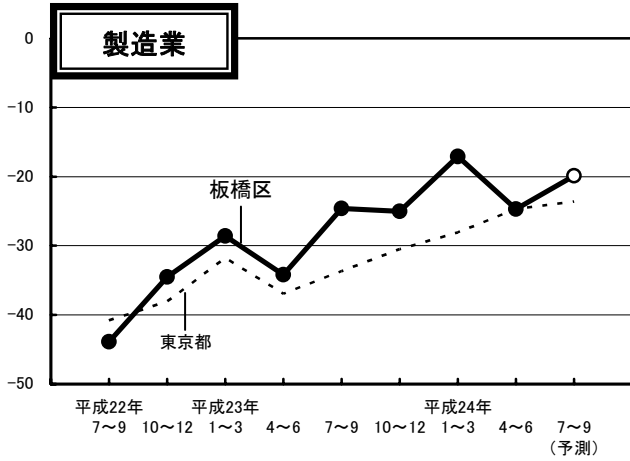
製 造 業	前期		業況は前期より7.6ポイント減の-24.7と大幅に悪化した。売上額は前期より3.8ポイント増の-14.3、収益は4.5ポイント増の-17.6とともにやや改善した。価格動向については、原材料価格は前期より6.4ポイント減の13.3と上昇を大きく弱め、販売価格は-8.7と前期並の下降が続いた。資金繰りは前期より2.2ポイント増の-17.5と若干厳しさが和らぎ、借入難易度は4.9ポイント減の-11.5と窮屈感がやや強まった。
	今期		
	来期		

小 売 業	前期		業況は-34.1と前期並の厳しさが続いた。売上額は前期より7.7ポイント増の-29.2と大きく改善し、収益は-32.2と前期並の減益が続いた。価格動向については、仕入価格は前期より4.5ポイント減の1.8とやや上昇を弱め、販売価格は-5.0と前期並の下降が続いた。資金繰りは前期より12.5ポイント増の-25.6と大きく厳しさが和らぎ、借入難易度は2.1ポイント減の-17.1と窮屈感がやや強まった。
	今期		
	来期		

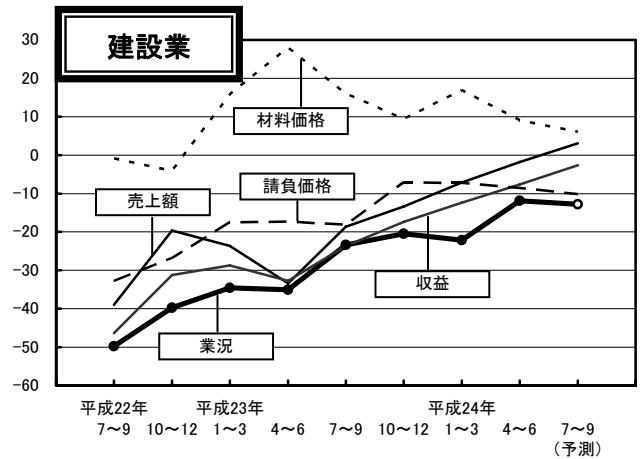
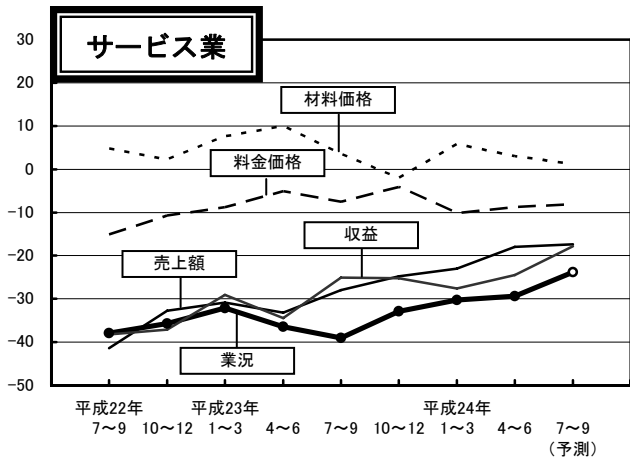
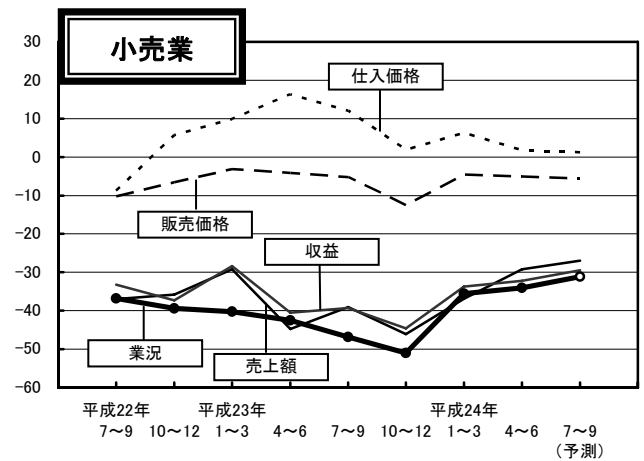
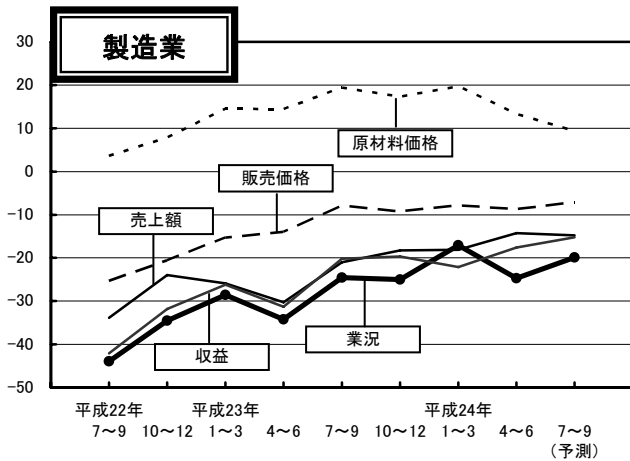
サ ー ビ ス 業	前期		業況は-29.4と前期並の厳しさが続いた。売上額は前期より5.0ポイント増の-18.0、収益は3.1ポイント増の-24.5とともにやや改善した。価格動向については、料金価格は-8.8と前期並の下降が続き、材料価格は2.8ポイント減の3.0とわずかに上昇が弱まった。資金繰りは前期より2.2ポイント増の-16.9、借入難易度は3.2ポイント増の-4.8とやや窮屈感が緩和した。
	今期		
	来期		

建 設 業	前期		業況は前期より10.2ポイント増の-11.9と大幅に改善した。売上額は前期より5.3ポイント増の-1.8、収益は4.8ポイント増の-7.6とやや減少・減益幅が縮小した。価格動向については、請負価格は-8.5と前期並の下降が続き、材料価格は7.8ポイント減の9.1と大きく上昇を弱めた。資金繰りは前期より4.4ポイント増の-24.9、借入難易度は4.7ポイント増の-14.7と窮屈感がやや緩和した。
	今期		
	来期		

板橋区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績）と来期の予測



板橋区 業種別 経営上の問題点

	製造業	小売業	サービス業	建設業
第1位	売上の停滞・減少 53.0 %	売上の停滞・減少 54.6 %	同業者間の競争の激化 64.1 %	同業者間の競争の激化 53.2 %
第2位	同業者間の競争の激化 37.6 %	同業者間の競争の激化 39.2 %	売上の停滞・減少 50.0 %	売上の停滞・減少 41.6 %
第3位	利幅の縮小 28.2 %	大型店との競争の激化 30.9 %	大企業との競争の激化 11.5 %	利幅の縮小 32.5 %
第4位	大手企業との競争の激化 11.1 %	商店街の集客力の低下 25.8 %	利幅の縮小 10.3 %	大手企業との競争の激化 18.2 %
第5位	販売納入先からの値下げ要請 9.4 %	利幅の縮小 13.4 %	取引先の減少 9.0 % 人手不足 9.0 %	人手不足 9.1 %

板橋区 業種別 重点経営施策

	製造業	小売業	サービス業	建設業
第1位	販路を広げる 68.4 %	経費を節減する 59.8 %	販路を広げる 51.3 %	経費を節減する 70.1 %
第2位	経費を節減する 65.0 %	品揃えを改善する 40.2 %	経費を節減する 50.0 %	販路を広げる 61.0 %
第3位	情報力を強化する 18.8 %	宣伝・広告を強化する 24.7 %	宣伝・広告を強化する 23.1 %	情報力を強化する 18.2 %
第4位	新製品・技術を開発する 12.0 %	商店街事業を活性化させる 16.5 % 売れ筋商品を取り扱う 16.5 %	人材を確保する 10.3 %	人材を確保する 13.0 %
第5位	提携先を見つける 9.4 %	仕入先を開拓・選別する 7.2 %	教育訓練を強化する 9.0 % 提携先を見つける 9.0 % 技術力を強化する 9.0 %	技術力を高める 11.7 %

東京都の景況

<製造業>

業況は前期に引続き水面下ながらわずかに厳しさが和らいだ。売上額・受注残・収益はともに減少幅・減益幅が幾分縮小した。価格面では、販売価格は前期同様の低下基調で推移した。原材料価格は上昇が幾分弱まった。来期の業況は、今期同様の厳しさが続くものと予想している。売上額・受注残・収益はともに今期並の減少が続くものとみている。

<小売業>

業況は、水面下ながらわずかに厳しさが和らいだ。売上額・収益はともに幾分減少幅・減益幅が縮小した。価格面では、販売価格は前期同様の低下基調で推移し、仕入価格は多少上昇が弱まった。来期の業況は、今期並の悪化幅で推移すると予想している。売上額・収益はともに減少幅・減益幅が縮小するものとみている。

<サービス業>

業況は、水面下ながら大きく悪化幅が縮小した。売上額・収益はともに大きく持ち直した。価格面では、料金価格は前期並の下降が続き、材料価格は前期並の上昇が続いた。来期の業況は、今期並の悪化幅で推移するものと予想している。売上額は今期同様の減少が続き、収益については、幾分持ち直すとみている。

<建設業>

業況は、4期連続で改善傾向が続いた。売上額・受注残は、引続きやや持ち直した。施工高・収益は、前期同様の減少幅で推移した。価格面では、請負価格は多少厳しさが増し、材料価格は上昇が大きく弱まった。来期の業況は今期同様の厳しさが続くものと予想している。売上額・施工高・収益は持ち直し、受注残は今期並の悪化幅で推移するとみている。